

ハローキャリアワーク通信

令和7年12月吉日
教育総合センター
事業推進担当課



令和7年12月13日(土)、秩父宮ラグビー場においてラグビーリーグワンの開幕戦、リコーブラックラムズ東京 VS 東京サントリーサンゴリアスの試合が行われました。この開幕戦ホストゲームの会場イベントのサポートを、3名の児童生徒が行いました。リコー総合グラウンドでの「リコーブラックラムズ東京」について知る座学に引き続き、2回目のハローキャリアワークです。

午前9時。秩父宮ラグビー場正門前に全員集合。開門前ですが関係者のパスを首から下げて、特別に入場させていただきます。今日は、ブラックラムズの公式ボランティア組織である「ラムジェリスト」の一員として、イベントブースのお手伝いをします。まずは控室に向かい、集まったボランティアの皆さんの打ち合わせに参加します。70名ほどの大勢の大人の集団の中に入って、とても緊張している様子が伺えます。最後にアカデミー・ホームタウン担当の大山さんから子どもたちが参加していることが紹介され



ました。次はいよいよ子どもたちの自己紹介の番です。たくさんの視線が集中する中、緊張しながらも一人ずつ名前と学年をしっかりと大きな声で言うことができました。とても立派でした。今日にける熱意が伝わってきました。

その後、作業のパートごとに分かれての打ち合わせになりました。キャプテンの岡田さんの話を真剣に聞く子どもたちでした。10名ほどのグループでしたが、ここでも子どもたちはしっかりと自己紹介をすることが



できました。

「TOKYO UNITE」のブースに移動し、お店の準備を手伝いました。このブースでは、都内を本拠地とする6つのスポーツチームのいずれかのチームのウェアを着て来場したお客様に、ブラックラムズのベースボールシャツと

缶バッジをプレゼントします。大きな段ボール箱からシャツを取り出して並べます。ラムジェリストのみなさんと力を合わせて



作業を進めていきます。貸していただいたスタッフジャンパーを着こむと、すっかりスタッフの一員になったような感じです。開場時間の10時まで、子どもたちは積極的に準備に取り組みました。





開門と同時に、ブースの前には長い行列ができました。お客様ひとり一人に、子どもたちはていねいに受け答えをしていました。常に笑顔を決め、常に「応援をお願いします」などの言葉を添えて、対応することができました。



途中から、2名の選手がブースに駆けつけてくれました。最初

は、佐藤 康（さとう こう）選手です。優しい笑顔で、子どもたちに接してくれました。次にファカタヴァアマト選手も加わり、みんなで記念写真を撮りました。長身のアマト選手はテントに頭がぶつかってしまうので、受付のテーブルを前に出しました。みんないい笑顔です。



お客様へのプレゼントを渡し終えて、本日の活動は終了です。控室にもどって、今日の振り返りをしました。大山さんからは、とてもよい接客だったとのことのお褒めの言葉をいただきました。



また、岡田キャプテンからは労いの言葉とともに、記念の品としてベースボールシャツと缶バッジをプレゼントしていただきました。3人ともとてもうれしそうでした。



ワークを終えた子どもたちは、お迎えにいらした保護者とともに、スタンドから大きな声援を送っていました。



子どもたちは今回の体験を通して、たくさんのことを学びました。こうした大きなイベントが多くの人々に支えられていることを知りました。そして、周りの人々への感謝の気持ちを大切にしたい、という思いをもった子どもたちでした。

